

2020.8月発行 vol.3

有限会社トラックアズマ



# とらっくあすまつう

この度の豪雨災害において被害のお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り致します。

3月まで社長をやっておりました東宏司（あすまこうじ）です。

堺市三宝町で創業し、現在の八尾市東町に引っ越してきて、もう15年経ちます。

引っ越しをした当時は『ヒガシ町』を『アズマ町』だと思い、私を大地主の息子だと勘違いされた方もいらっしゃいました（笑）。そこで今後、私の担当月は「I LOVE ♡ YAO」と題して八尾を中心とした名所や名物を紹介させていただきます。

第1回目はこの方、一万円札の肖像画としても有名な「聖徳太子」さまに所縁のある名所を2か所ご紹介します。

飛鳥時代に当時有力な豪族、物部氏 VS 蘇我氏の仏教をめぐる争いがあったことは皆様もよくご存知のことでしょう。蘇我氏側について戦った聖徳太子が追い詰められた際、彼を助けたとされる棕（むく）の木「神妙棕（しんみょうりよう）」を祀つてあるのが「大聖勝軍寺（たいせいしょうぐんじ）」です。

（八尾市太子堂3丁目）

ぜひ一度足を運んでみてはいかがですか。歴史の見方も変わるかもしれませんよ！

そして、もう1か所私がご紹介したいのは弊社本社の東側、四季折々の景色を見せてくれる「信貴山（しぎさん）」です。

前出の争いの際、聖徳太子は物部守屋を討伐せんと河内稻村城へ向かう途中、この山に至りました。

太子が戦勝の祈願をするや、天空遙かに毘沙門天王が出現し、必勝の秘法を授かりました。

その日は奇しくも寅年、寅日（十二支の寅（とら）にあたる日で、12日ごとに巡ってくる吉日のこと）、寅の刻（午前3時から5時までの2時間の間）がありました。

太子はその御加護で勝利し、自ら天王の御尊像を刻み、伽藍を創建、信ずべし貴ぶ山『信貴山』と名付けました。以来、信貴山の毘沙門天王は寅に縁のある神として信仰されています。

私たちも毎年『商売繁盛』を祈願して山を登って朝護孫子寺（ちようごそんじ）へお参りしております。大きな張子の寅と、毘沙門天様もぜひ一度お参りください。

張子の寅は、弊社玄関にもミニチュアがあり、弊社をお守りしてくれています！

歴史の古い八尾の地ですので、布拉つと散策に来てみてくださいね。



コンニチハ！本社に駐在している寅です！八尾に遊びにきてくださいね！



雪化粧をした張子の寅さん



春には桜の名所となります



今年のお正月の1枚です

※文章・写真は朝護孫子寺 HPより一部引用

⇒⇒裏面もあります⇒⇒

